

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 久世西老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

<p>【開所日及び開所時間】 月曜日～土曜日 8時30分～20時00分 (サービス提供時間 9時20分～19時10分)</p> <p>【利用定員】 指定通所介護事業（介護予防型デイサービス含む） 第1部 9:20～12:30 35名 第2部 12:40～15:50 35名 第3部 16:00～19:10 35名</p> <p>【事業実施区域】 京都市南区（西高瀬川以西、JR京都線以南）、京都市伏見区（桂川以西）、京都市西京区（国道9号線以南、新林本通り以東）、向日市</p> <p>【施設運営】 ○ 多様な利用者のニーズ、要望に耳を傾け、より質の高いサービスを提供することで多くの方々に利用していただいています。 ○ 3時間10分（3～4時間）営業を3単位（3回転）で実施しています。1部・2部・3部をそれぞれ組み合わせさせて連続利用をすることができます。</p> <p>【建物管理】 ○ ビルメンテナンス専門業者に依頼し、建物の定期点検を実施するとともに、施設の経年劣化に伴う修繕にも力を入れ、美観を損なわないよう維持管理に努めています。 ○ 緊急時や非常災害時に、施設管理者や役員職員に連絡、招集が取れる体制を整えています。また防犯対策として防犯カメラの設置や民間警備会社の導入を行っています。</p>

2 事業実施内容

<p>(1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）</p> <p>【指定通所介護事業】 通所介護・介護予防型デイサービス事業実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・レクリエーション・機能回復訓練・送迎・相談業務・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）</p> <p>【久世西老人デイサービスセンターのサービス重点項目】 ・お風呂に入りたいけど長い時間は利用したくない。リハビリだけしたい。朝はゆっくりしたい、スポーツジム感覚で運動したい、家族にゆっくり休息してほしい等、利用者のニーズは多様化しています。 午前、午後、夜の3部制での利用時間のため、ご利用者一人一人に合った時間帯の利用が可能となっています。 ・機能訓練機器の充実と専従の理学療法士からの機能訓練指導により、より専門性の高いリハビリを行っています。 ・地域交流（併設の児童館、久世西小学校、久世中学校）等を通し高齢者とのふれあいの場の提供により地域に根ざした施設となっています。</p> <p>【その他】 新人育成研修、リーダー育成職員育成研修、管理者育成研修、介護技術研修、認知症に関する研修、職業倫理・法令遵守研修、プライバシー保護研修、高齢者の権利擁護研修、高齢者虐待・身体拘束廃止等研修、接遇マナー研修、介護及び交通事故防止研修、緊急時・非常災害発生時の研修、感染症研修（業務継続計画に沿った内容）、資格取得研修（介護福祉士・介護支援専門員）他</p>
<p>(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）</p> <p>居宅介護支援（ケアプラン作成、関係機関との連絡調整、アセスメント、モニタリング等）</p>
<p>自主事業の実施状況は、以下の通り。</p>

3 サービス提供状況

<p>【職員体制】 指定通所介護事業、指定介護予防型デイサービス事業 管理者 1名 生活相談員兼介護職員 6名 介護職員 7名 (常勤 2名、非常勤 5名) 看護職員兼機能訓練指導員 5名 (常勤 3名、非常勤 2名) 機能訓練指導員 3名 (常勤 2名、非常勤 1名)</p>
<p>再委託の実施状況 (協定書に明記のない再委託業務) は、以下の通り。(例: 給食調理業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房業務 (調理業務)

4 市内中小企業への発注に対する考え方

<p>地域の中の施設であるという考えのもと、地域との結びつきを強め、互いに協力できる体制をつくるため、地域の中小企業や個人商店が当施設との取引の中で永続的に発展できるようにしていきたいと考えている。</p>

5 施設の利用状況 (本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 通所介護 (総合事業含む) 延べ利用者数

① 令和 6 年度実績値	25,507	人
② 令和 7 年度目標値	26,460	人

(2) 通所介護 (総合事業含む) 稼働率

① 令和 6 年度実績値	77.3	%
② 令和 7 年度目標値	80	%

(3) 収支実績

ア 本来業務 (老人デイサービスセンター)

令和 6 年度収入状況及び支出の状況 (単位: 円)

介護保険収入	153,821,291
利用料収入	13,039,650
委託料収入	0
補助金収入	1,189,594
寄付金収入	0
雑収入	112,458
その他	45,308
収入計	168,208,301

人件費	86,322,273
事業費	49,612,718
委託費	19,136,652
小額修繕費	1,564,902
その他	17,999,851
支出計	174,636,396

イ 企画提案業務 1 (居宅介護支援)

令和 6 年度収入状況及び支出の状況 (単位: 円)

介護保険収入	9,230,653
利用料収入	0
委託料収入	0
補助金収入	16,064
雑収入	0
その他	0
収入計	9,246,717

人件費	18,331,136
事業費	29,088
委託費	0
その他	545,938
支出計	18,906,162

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- 満足度調査の実施（利用者、家族）
- ホームページでお問い合わせフォームを用いての意見聴取

(2) 利用者満足度把握の結果

- 1 職員の言葉使いは丁寧ですか、99%の方が満足
- 2 職員の服装は清潔感がありますか、89%の方が満足
- 3 職員は安全運転をしていますか、89%の方が満足
- 4 送迎車での移動・機械の操作は安全に行えていますか、89%の方が満足
- 5 室内は清潔、かつ整理整頓をされていますか、84%の方が満足
- 6 室内の空間・温度調節は適切ですか、85%の方が満足
- 7 トイレは清潔ですか、83%の方が満足
- 8 トイレは安心して使用できますか、84%の方が満足
- 9 浴室の室温は適切ですか、78%の方が満足
- 10 浴室内・脱衣所での介助は安全に行えていますか、79%の方が満足
- 11 食事の味付けは満足されていますか、81%の方が満足
- 12 食事の盛り付けは満足されていますか、81%の方が満足
- 13 食事は適切な温度で提供されていますか、84%の方が満足
- 14 おやつを提供に満足されていますか、71%の方が満足
- 15 レクリエーションは楽しいものが提供されていますか、48%の方が満足
- 16 リハビリの施行時間は満足されていますか、64%の方が満足
- 17 リハビリの内容は満足されていますか、66%の方が満足
- 18 機能訓練の内容は十分に説明を受けられていますか、61%の方が満足
- 19 相談や不満など、安心して話せる職員はいますか、65%の方が満足
- 20 整容(爪切り、髭剃りなど)はきちんと出来ていますか、69%の方が満足
- 21 感染症対策には満足されていますか、78%の方が満足
- 22 利用料金に満足されていますか、76%の方が満足
- 23 サービスを利用した全般的な満足度 91%の方が満足

(3) 意見等への主な対応状況

満足度調査やサービス担当者会議により、把握できたご意見、ご要望を職員で検討。改善策、改善期間を調査結果として掲示。
満足度調査の内容のパンフレットを作成し、利用者、事業所に配布しています。

7 その他特記事項

(1)

- 学生・実習生、インターンシップの受入れ
インターンシップや教員免許取得希望者の介護等体験の受け入れを行い、実際の現場を見てもらえることで、介護の仕事に対するイメージを良い意味で変えていただくことが出来ております。また受け入れる環境として、職員の学びにも繋がっています。

(2)

- 併設している老人福祉センターや児童館との連携
児童と高齢者、要支援・介護高齢者とイベントや交流会を実施することで、高齢者は子どもとの関わりの中で生きがいを見出し、子どもは学校では身に付かないマナーや倫理観などを学べ、人と人とのつながりを強化し支え合える環境づくりができたと考えております。

(3)

- 職員の働き方、週休3日制について
10時間労働の週4日勤務で、給与を下げずに週休3日制を実現しています。
1日の労働時間が長いですが、休みの日が多いため十分疲労を取ることができ、プライベートの充実も図ることができています。残業も少なくなり、ワークライフバランスにもつながっています。
- ビジネスチャットを活用し、会議やミーティングをwebやチャット上で行い、組織内の利用者情報の共有を滞りなく行えるようにしております。

8 評価（指定管理者自己評価）

当施設では、全国的にも例の少ない「短時間型3単位」での通所介護サービスを提供しており、3時間程度の短時間利用を基本とした柔軟なサービス体系により、多様な利用者ニーズに対応しています。その結果として、以下のとおり稼働状況は前年度比で大幅に向上いたしました。

【令和6年度 デイサービス稼働状況】

延べ利用者数：

- 令和6年4月：1,786人 → 令和7年3月：2,263人

稼働率の推移：

- 令和6年4月

①部：66.7% ②部：89.1% ③部：39.9%

- 令和7年3月

①部：91.2% ②部：94.5% ③部：61.1%

このように、各時間帯で稼働率が顕著に上昇しております。

【稼働率向上の主な要因】

1. 総合的なサービス提供

他法人の短時間型デイサービスでは「運動特化型」が多い中、当施設では入浴・食事・機能訓練などを含む総合的なサービスを提供しており、個々の利用者ニーズに合わせやすい体制が評価されています。

2. イベントやレクリエーションの充実

利用者が継続的に通いやすいよう、定期的なイベントや季節行事、レクリエーションなど多彩な企画を実施し、満足度の向上に努めました。

3. 在宅特養との連携強化

下記に記載する「在宅特養」構想との親和性が高く、定期巡回・随時対応型訪問介護看護との併用利用につながったことも、利用促進に寄与しています。

【在宅特養と地域包括ケア】

久世地域における地域包括ケアシステムの構築に向け、「在宅特養」という独自の概念を提唱し、取り組んでいます。これは、従来分かれていた施設サービスと在宅サービスを有機的に組み合わせ、施設や病院での生活が必要と判断されていた方に対しても、住み慣れた自宅で「特別養護老人ホームと同等の安心」を感じられるようなケアを提供し、在宅生活の継続を支援するものです。

具体的には、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用している方に対して、通所介護を短時間型にシフトすることで、介護保険の区分支給限度額の範囲内でも、希望する回数の利用を可能としました。これにより、利用者のQOL（生活の質）の向上と在宅生活の限界点の引き上げに貢献できたと考えています。

【情報発信の強化について】

情報弱者となりがちな高齢者に対し、当施設の取り組みや提供サービスについて、法人ホームページやInstagramなどのSNSを活用した情報発信を行うとともに、広報誌などの紙媒体を通じた周知も併せて実施いたしました。これにより、より幅広い層への情報提供を可能とし、地域における当施設の認知度向上と利用促進につなげています。

【職員研修の実施について】

職員の資質向上とサービス品質の向上を目的に、毎月1回の定期研修を実施しています。研修内容は多岐にわたり、実務能力だけでなく倫理的感覚や接遇面の向上にも注力しています。

また、障害者差別解消法に基づく研修（不当な差別的取扱いの禁止および合理的配慮の提供）を行い、障害のある方々が障害のない方々と同様に権利を行使できるよう、どのような合理的配慮が必要かを職員間で共有し、日々の業務において差別的行為が生じないよう意識啓発と理解促進に努めました。

【資金収支および今後の展望】

令和6年度は指定管理2年目にあたりますが、施設開設から31年が経過し、老朽化や経年劣化により設備の破損・汚損が見られる中、必要な修繕・更新を実施しております。また、食材料費や水道光熱費等で支出が大きくなっており、しかしながら稼働率の向上により収入も増加し、黒字化まであと少しのところまでできております。

今後、さらに進行する高齢化社会に対応するため、指定管理者としての責任を果たし、地域福祉の拠点施設として地域包括ケアシステムの実現に向け、引き続き取り組んでまいります。